

# 四条だより

令和7年12月号



まもなく12月、早いもので今年もあと1か月となりました。年々短くなる秋も終わりという季節ですが、寒い日や暖かい日など寒暖の差が激しい日が続きました。天候と同じように世の中でも国内外の政治など激しい動きが続いています。以前にも増して社会の変化は激しく、先の予測が困難な時代となっています。このような時代を迎える、これから社会を生きていく子どもたちには、しっかり自分で考え、行動することができる人になってほしいと願っています。子どもたちには、中学生という大人の入口へ向かう大切なこの時期に、自分で考え判断し、行動できる力を身につけてほしいと思っています。そして、そこからさらにステップアップさせて新たな一步を踏み出してほしいのです。四条中学校の生徒たちは、自分の学習や学校行事で新たな一步を踏み出そうとしてくれています。1年生は真の中学生としての新たな一步を、2年生は学校の中心としての新たな一步を、3年生は進路の実現に向かって新たな一步を踏み出しました。ご家庭でも子どもたちの歩みを支えていただきますようよろしくお願ひいたします。

## 後期認証式を終えて思うこと

一昨日、後期の認証式を行いました。新しい生徒会本部役員、各学級の後期の学級委員の人たちが認証されました。いよいよ今年度の四条中学校の後半戦がスタートしました。役員や委員になることが目的で立候補した人はいないと思います。これから何をするのか、何を始めるのか、そして四条中学校をどんな学校にするのかを考えてほしいと思います。学校祭、総括テストⅣも終わり、一息つくところですが、今が新たな一步を踏み出す大きなチャンスです。今の四条中学校に何が足りないのか、何が必要なのかを学級や学年、委員会で考えてみてください。みんな一人一人が普段の学校生活を振り返ってみると目に見えてくるはずです。授業中集中して勉強できていますか？人の気持ちを傷つけませんか？自分も含めて人や物を大切にしていますか？当たり前のことを当たり前にできる生徒、学校であってほしいと願っています。「当たり前の当たり前に」これも新たな一步だと思います。後半戦、どんな学校生活が展開されるのか楽しみです。



## 2年 いけばな体験

10月29日に、2年生で「いけばな体験」を行いました。今年も桑原専慶流の先生方を講師にお招きしてご指導いただきました。このいけばな体験がはじまって、4年目を迎ますが、すべて桑原先生にお世話になっています。桑原先生やそのお弟子さんから毎年四条中のいけばな体験に参加した生徒へお褒めの言葉をいただきます。今年の2年生の生徒へ「こんなに楽しんで、真



面目に取り組んでくれて、こっちが楽しくなります。良い生徒さんですね。」とお話をされて帰られました。確かに最初は緊張しながら体験していたと思いますが、「花と会話をしながら生けてみてください」という先生の教えをしっかりと聞いて、真剣に花と向き合い、一人一人の個性が溢れ出る美しい花を生けることができました。きれいな花を目の前にすると心も落ち着き、清らかな気持ちになる、そんな素晴らしい京都の伝統文化の経験ができました。子の授業をきっかけに京都の伝統文化の素晴らしさを認識してもらえばと思います。